障碍福祉基金の積立状況・とりくずし状況及び今後の活用予定

健康福祉部　障碍福祉課

（単位：千円）

障碍福祉基金		H29決算額	H30決算額	R１決算額	R2決算額	R3決算額（見込）	R4予算額
積立額		37,000	138,513	277,054	277,106	277,244	277,256
	福祉金相当分	0	138,500	277,000	277,000	277,000	277,000
	利子分	0	13	54	106	244	256
	その他寄附等	37,000	0	0	0	0	0
とりくずし額		0	25,682	27,617	30,060	87,015	71,735
当該年度末残高		37,000	149,831	399,268	646,314	836,543	1,042,064

とりくずしの事業内容

（単位：千円）

開始年度	事業内容	H30決算額	R１決算額	R2決算額	R3決算額（見込）	R4予算額
H30	委託相談支援事業の拡充 （H30年度　3か所→5か所 R３年度　5か所→7か所）	19,682	20,000	20,000	49,403	49,403
	就労支援相談員の増員 （障碍者就業・生活支援センター 「あとむ」4名→5名）	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
	グループホームに係るスプリンクラー設置費用補助（１施設につき100万円を上限）	0	1,000	1,000	3,000	3,000
R１	共同受注窓口の運営補助 （共同受注窓口グッドジョブ）		617	3,060	4,645	4,943
R ３	地域生活支援拠点等事業 （緊急時の短期入所先の確保（2床）、緊急時ヘルパー派遣、人材養成研修の開催）				8,149	8,389
R ３のみ	空調機器整備工事費 （ワークプラザ宝塚）				15,818	
合計		25,682	27,617	30,060	87,015	71,735

今後の活用予定について

障碍のある方が将来にわたって安心して暮らせる社会の実現に資する施策の財源として当該基金を活用する。

今後は、障碍者団体から要望のあった障碍のある方のための総合的な施設の整備事業を検討しており、これまでに各団体のニーズ調査やヒアリングを実施している。他市の施設の視察などを行いながら、既存施設の活用も含め、整備を推進する。